



## 「感染症指定医療機関の感染管理認定看護師としての

### 新型コロナウイルスへの対応

R2年1月から感染症診察室で新型コロナウイルス感染症疑い患者に対応し、4月からは陽性の入院患者受け入れが始まりました。感染管理認定看護師として、院内の環境整備、対応するスタッフへのPPE着脱指導、病院内の空調確認などの他、保健所とのやりとりや受診・入院患者受け入れ調整、厚労省からの通知確認など多岐に渡る業務を行い、当初は緊張と不安でいっぱいでした。R3年6月現在まで、外来での疑い患者対応は約1200人、そのうち入院120人を超えました。感染制御部のスタッフと協力し、看護部、事務部などの支援を受けながら日々の活動を行っています。

感染管理認定看護師 近藤明美



P.S. 先日、トランシーバーが届きました。搬送時にスタッフ同士がスムーズに連携し、陽性患者を安全に誘導できるようになりました。



## 「未就業看護師職・就業支援研修」

長崎県看護キャリア支援センターの研修会で2015年から2020年までの6年間担当しました。内容は感染対策の基本である「標準予防策」と2017年からは「排痰方法と吸引手技」も行いました。座学ばかりではなく手洗いやPPE着脱、吸引などの演習を交えて楽しく学べるようにしました。2020年より座席の間隔を空け、演習時にフェイスガードを着けるなど新型コロナ感染対策を行い研修を実施しました。参加者の受講動機を拝見すると「子育てが一段落して、また社会復帰したいと思った」「違う施設に転職するため技術の再確認をしたい」など向上心が高い思いを持たれており、こちらもやる気を頂きました。

感染管理認定看護師 岩本さゆみ



研修風景がTVで放送されました

## 「血液内科病棟における「意思決定支援」と「指導・教育」

昨年度は血液内科病棟へ異動となり、慣れない環境でのスタートでした。初めに自分のできる活動からと思い「意思決定支援」と「指導・教育」を行いました。意思決定支援は、病棟スタッフの協力を得て医師の病状説明に10件同席し、8件のがん患者指導管理料イ(500点)を算定しました。件数は少ないので今後も件数を伸ばしたいと思います。また、昨年度はがん看護セミナーの「治療部門」を担当し、3回の講義を行いました。COVID-19に配慮しeラーニングによる学習と講義時間を短縮しましたが、アンケート結果は満足93%、やや満足7%、理解できた62%、やや理解できた38%、大いに役に立つ95%と好評でした。


がん化学療法看護認定看護師 大柳 一彦

## 「新型コロナウイルス感染症患者(疑い含む)の対応とコンテナ診察室の運用」

R2年1月感染症診察室で新型コロナウイルス感染症疑い患者の対応が始まり、11月にコンテナ診察室の運用を開始し、R3年2月より新型コロナウイルスの入院時スクリーニング検査を担当しました。これらの業務を通して、新型コロナウイルスが院内に侵入することを防ぐと共に、新型コロナウイルス感染症患者の対応を行うことで微力ながら患者さんの健康問題の解決に貢献できたと感じました。そのほか抗菌薬適正使用支援(AST)の業務を担当しており、ASTカンファレンスを行うことで、ICDと感染制御認定薬剤師の先生より感染症患者に投与されている抗菌薬が適切に投与されているか検討しております。

感染症看護専門看護師 特定行為研修修了 中島順一郎



<p>I. 感染症患者の対応</p> <p>感染症診察室における対応</p> <p>COVID-19、結核肺炎(疑い含む)等</p> 	<p>II. 新型コロナウイルス入院時スクリーニング検査</p> <p>COVID-19の早期発見</p> 	<p>III. 抗菌薬適正使用支援</p> <p>ICD、感染制御認定薬剤師、ICNによるASTカンファレンス</p> 	<p>IV. コンテナ診察室の運用</p> <p>発熱患者、COVID-19疑い等の患者対応</p> 
--	---	---	--